

「サステナブル経営」の推進

シチズングループのサステナビリティ委員会について

シチズングループでは、シチズン時計の社長を委員長として、シチズン時計の常勤取締役、事業統括会社社長を委員とする「サステナビリティ委員会」が中心となり、グループ全体の「サステナブル経営」を推進しています。

サステナビリティ委員会の事務局であるシチズン時計のCSR部門および経営企画部は、グループ各社のCSR担当、経営企画部および各マテリアリティの委員会事務局とともに、サステナビリティ事務局会議を定期的に行い、各社でのサステナブルな課題の検証や取り組み状況の進捗等を確認しています。同会議における各社からの提案や報告事項は、サス

テナビリティ委員会に上程され審議されます。

4半期に1回開催されるサステナビリティ委員会では、事務局会議からの報告事項の審議とともに、マテリアリティの定期的な見直しや既存事業におけるサステナビリティへの取り組み方針の策定とモニタリング等を行っており、議論内容は経営会議および取締役会に報告され、指示監督を受けています。

また、2020年度は、サステナビリティ委員会メンバーを始め、部門長を含む役職者を対象として、外部有識者を招いたSDGs勉強会を実施し、企業に対する社会からの要請や取り組むべき課題について理解を深めました。

サステナビリティ委員会における 2020年度の主な審議事項

- グループマテリアリティへの取り組み状況
- CSR調達を通じたお取引先様への人権デューデリジェンスの進め方
- 国連グローバルコンパクトCSR調達SAQによる、グループ各社の取り組み状況の自己評価
- マテリアリティおよびグループ重要リスクの見直し

シチズングループの「サステナブル経営」の推進体制

サステナビリティ委員会の下部委員会として、シチズングループの各マテリアリティへの取り組み状況を主に管理・推進する、「グループ品質コンプライアンス委員会」等の4つの委員会を設置しています。

また、経営に関わるリスクを扱い、経営基盤を強固にする側面に関しては、「グループ情報ガバナンス委員会」「グループ法務・コンプライアンス委員会」「グループ事業継続マネジメント委員会」を設置して

います。これらの委員会は、毎月開催される経営会議のもとに設置され、問題の早期発見や審議、対応等即時対応が可能な体制としています。更に、2020年6月より、サイバー攻撃といった突発的な事象に即時対応するCSIRT(Computer Security Incident Response Team)として、「CITIZEN-SIRT」を設立しました。

サステナビリティ推進体制

